

KEIJI KIMURA

きむら けいじ
木村 啓二 准教授

》専門分野《



環境経済/環境政策/
エネルギー経済分析



Q 担当科目を教えてください



環境経済論

環境問題と経済とは一見関係ないもののように思えますが、実際には密接な関係にあります。その関係性を理解することで、現代環境問題の解決策もみえてくるのです。この講義では、資源問題、大気汚染問題、地球温暖化問題などを例に、経済学の視点から環境問題を考えます。

ミクロ経済学入門

経済学はとっつきにくい学問であるように思われがちですが、私たちの普段の生活に深く関係している学問です。消費者や企業は、どのように考え、どのように取引を行い、そのとき価格はどのように動いていくのでしょうか。また市場がうまく機能しない場合もあります。その場合に政府がどのような介入をすべきでしょうか。身近な消費者や企業の行動等からミクロ経済学を説明しています。

演習(ゼミナール): 環境経済

経済学的視点から環境問題、特に地球温暖化問題や環境エネルギー問題を中心に扱っています。ゼミでは、関連する書籍をみんなで読み、報告・議論をしあっています。さらに、教室を飛び出して、実際の事例を視察するなどして、現場では実際にどのような課題があるのかなども調査をしています。

Q 研究のテーマは何ですか?



再生可能エネルギーの費用研究

地球温暖化を抑制するためには化石燃料から再生可能エネルギーに転換する必要があります。そのためには、発電の設備やエネルギー利用の方法を大きく変える必要があります。そのためどの程度の費用がかかるのか。また、その費用を社会全体で低減するためにはどのようにすればよいのか、これらの問題を経済学の視点から考えています。

Let's read a book

わたしの
おすすめ本

科学の原理と人間の原理

著者 高木仁三郎
出版社 方丈堂出版
出版 2012年
ISBN 978-4892310928

高木氏は、東京電力福島原発事故以前から、科学者の立場から原発の問題を世に訴えてきました。この本は高木氏の講演録なので、とても読みやすいです。この本の中で、科学とは何か、人間と科学との関係、社会と科学との関係について、著者が原子力研究をしていく中で悩み、そして独自に歩んできた道を語っています。



Q 研究者ってどんな仕事ですか？



研究者は、世の中の様々な現象や課題について、疑問をもつことから始まると思います。「どうしてそうなるのか」「なぜそうなるのか」「どうすれば問題が解決するのか」など。それらの疑問を徹底的に追及して、たとえわずかであっても世の中（自然や人間社会）における疑問に答えることが研究者の仕事だと考えています。

Q 先生ってどんな人？



お休みの日は何をしていますか？

子どもたちと公園にいたり、遊びに行ったりしています。

どのような大学生活でしたか？

大学での勉強以外にも、ボランティア活動なども取り組み、大学以外にも多くの人に出会い、視野を広げることができました。

大阪産業大学キャンパスや大学周辺でのおすすめスポットは？

目立ちませんが、大学の南側に並木道があります。木々が四季折々の姿を見せてくれ、とても癒されます。

ひとこと
学生のみなさんへ

大学時代の経験や友人は一生の宝物になりえます。ぜひともよく遊び、よく学んで、多くの経験を積んでください。

